

林野庁

林野庁における流域治水との連携の取組

- 流域治水と連携した取組を推進するため、森林管理局及び都道府県林務部局が流域治水協議会に参画し、**全ての一級水系（109水系）をはじめとした各水系の流域治水プロジェクトに「森林整備・治山対策」を位置づけ。**
- 具体的には、**国土強靱化5か年加速化対策を活用**し、各地の河川上流域等において、**土砂・流木の流出を抑制するための治山ダム**の設置、**森林の保水力向上のための筋工等の設置や森林整備等を重点的に推進**しているところ。

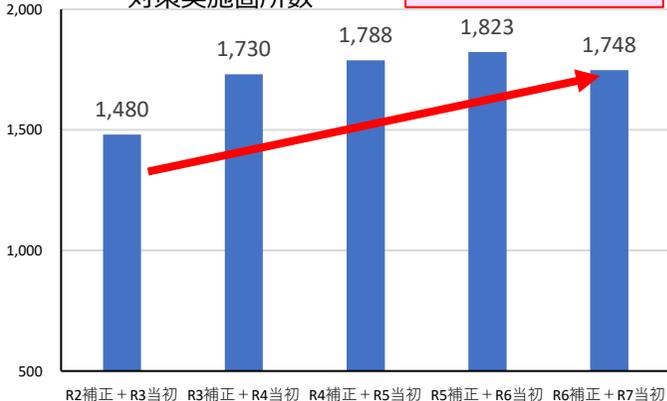
■ 流域治水との連携状況

各水系の流域治水プロジェクトに「森林整備・治山対策」を位置づけ



流域治水プロジェクト
エリア内における
対策実施箇所数

**延べ約8,500箇所
で実施**



■ 重点的な取組内容

【土石流・流木対策】

○天竜川水系（愛知県豊根村）



荒廃の進んだ渓流において治山ダムを設置し、土砂の流出防止を図った。

○京築・行橋・田川圏域（二級水系）（福岡県豊前市）



土石流等発生のおそれがある渓流において、治山ダムを設置。

○北上川水系（岩手県紫波町）



土石流等発生のおそれがある渓流において、流木補足式治山ダムを設置。

○嘉瀬川水系（佐賀県佐賀市）



不安定土砂が著しく堆積する渓流において、流木補足式治山ダム等を設置し土砂の流出防止を図った。

【森林の保水力向上対策】

○淀川水系（京都府南丹市）



森林の保水力向上のため、筋工と組み合わせた保安林整備を実施。

○那賀川水系（徳島県那賀町）

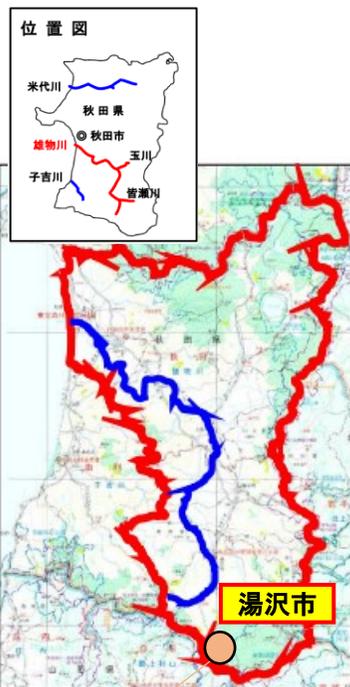


森林の保水力向上のため、筋工と組み合わせた保安林整備を実施。

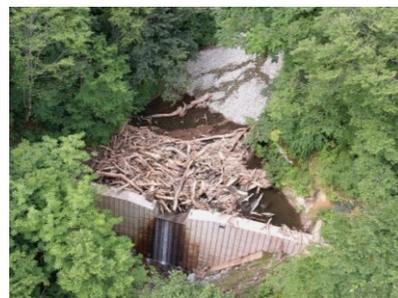
流域治水に資する治山対策の効果発揮・連携事例

■ 効果発揮事例

- 秋田県雄物川水系では、雄物川流域における地域住民の生命・財産を洪水被害から守るため、流域治水プロジェクトに基づき、河川部局による下流域での河道掘削等の取組と連携し、森林管理局による上流域での治山ダムの設置等の治山対策等を推進。
- 令和5年7月の梅雨前線による大雨の際には、湯沢市秋ノ宮地区において流出土砂や流木が発生したものの、治山ダムが土砂や流木を捕捉し、下流への被害を防止・軽減した。



治山対策後



流木の捕捉状況

治山対策実施箇所

■ 流域流木対策

「流域治水」の考え方に基づき、各流域において、想定される流木量を定量的に扱った統一の計画により、林野事業と砂防事業が連携してそれぞれの事業を一体的に実施することで、対象流域における流木被害を防止・軽減。当該対策を流域治水プロジェクトの一環として行う場合は、連携及び対策の内容を流域治水協議会に報告し、当該流域の流域治水プロジェクトに反映。

○流域流木対策の事例（金立川（筑後川水系・佐賀県佐賀市））



過去の災害発生時の状況



治山事業による整備地



砂防事業による整備地

■ 技術交流会の開催

「流域治水」における治山事業と砂防事業の連携した取組として、関係機関が災害対応の取組や流木対策の課題と事例について意見交換を行い、各機関の事業箇所を合同で現地視察する技術交流を実施。

○奈良県内における技術交流の取組



【直轄砂防】



【直轄治山】